

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 28 年 9 月 1 日 (2016.9.1)

【公開番号】特開 2014-32735 (P2014-32735A)

【公開日】平成 26 年 2 月 20 日 (2014.2.20)

【年通号数】公開・登録公報 2014-009

【出願番号】特願 2013-153138 (P2013-153138)

【国際特許分類】

G 1 1 B 7/24038 (2013.01)

G 0 3 H 1/02 (2006.01)

G 0 3 H 1/26 (2006.01)

G 0 2 B 5/32 (2006.01)

G 1 1 B 7/244 (2006.01)

G 1 1 B 7/24 (2013.01)

G 1 1 B 7/24097 (2013.01)

G 1 1 B 7/09 (2006.01)

G 1 1 B 7/0065 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 7/24 5 2 2 P

G 0 3 H 1/02

G 0 3 H 1/26

G 0 2 B 5/32

G 1 1 B 7/24 5 1 6

G 1 1 B 7/24 5 3 5 C

G 1 1 B 7/24 5 3 8 Q

G 1 1 B 7/24 5 7 1 B

G 1 1 B 7/09 A

G 1 1 B 7/0065

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 7 月 14 日 (2016.7.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の機能膜層 (12) と交互配置された複数の光に不活性な層 (14) を含むマイクロホログラム層 (10) であって、前記複数の機能膜層 (12) が、第 1 の光線によって照射されるとその屈折率に変化を受け、第 2 の光線によって照射されるとその屈折率に変化を受けない素材を含む、マイクロホログラム層 (10) と、

前記マイクロホログラム層 (10) と交互配置された複数のスペーサ膜 (20) と、
を含み、

第 1 のマイクロホログラム層 (10) および第 2 のマイクロホログラム層 (10) が読み出し中に 2 つの異なる波長に反応する、成分。

【請求項 2】

前記マイクロホログラム層 (10) の間隔が P として定義され、

P = / 2 n であり、

さらに、 が読み出し光線の光の波長であり、 n がマイクロホログラム層（１０）内の前記複数の光に不活性な層（１４）および機能膜層（１２）の有効屈折率である、請求項１記載の成分。

【請求項３】

記録状態の間に高い強度で照射されると、前記マイクロホログラム層（１０）の反射率が変更される、請求項１または２に記載の成分。

【請求項４】

前記複数の光に不活性な層（１４）および前記複数のスペーサ層（２０）が同じ屈折率を有する、請求項１乃至３のいずれかに記載の成分。

【請求項５】

第１の機能膜層（１２）内の第１の素材が第１の素材の合成物、濃度、および閾値反応を有し、第２の機能膜層（１２）が少なくとも１つの異なる第２の素材の合成物、濃度、および閾値反応を有する第２の素材をもつ、請求項１乃至４のいずれかに記載の成分。

【請求項６】

それぞれの連続するマイクロホログラム層（１０）がデータ読み取り装置および読み／書き装置のうちの１つから離れる方向により高い反射率を有する、請求項２記載の成分（３０）。

【請求項７】

前記複数のスペーサ膜（２０）のうちの少なくとも１つが補助反射スタック（２２）をさらに含み、前記補助反射スタック（２２）が記録および読み出しの光の波長に不活性な素材からなる複数の層を含み、それによって反射基準層を画定する、請求項１乃至６のいずれかに記載の成分（３０）。

【請求項８】

前記複数のマイクロホログラム層（１０）の記録波長が、前記複数のマイクロホログラム層（１０）の読み出し波長と異なる、請求項１乃至７のいずれかに記載の成分（３０）。

【請求項９】

前記第１の光線が高い強度をもつ光を含み、前記第２の光線が低い強度をもつ光を含む、請求項１乃至８のいずれかに記載の成分。

【請求項１０】

その中に成形用非フォトリマープラスチック基板およびサーボ層（４４）を含む基板層（４２）と、

前記基板層（４２）に隣接する請求項１乃至９のいずれかに記載の成分（３０）とを含む、データ記憶デバイス（１００）。